

レーザーキャニング式ロール形状測定システム

登録番号18 - 43

〔技術・製品の概要と特徴〕

円筒状などのワークの外径・振れ・真直度などをレーザーマイクロメーターを使用し、非接触で計測からデータ処理、さらには検査表の印刷までを自動化した測定システム。パソコン制御により測定箇所的位置決め、測定動作、測定結果と合否判定の表示および印刷までの一連の流れを全自動で実行する。ロール、ドラム、シャフトなどの円筒状の外径のほか、楕円度・円筒度・全振れなど17項目の測定ができる。



〔用途〕

コピー機、プリンターなどに使用されているゴムロール、アルミドラム、シャフトなどの外径・振れ・真円度などの測定と合否の判定

〔希望する技術移転の形態・相手先・地域〕

共同研究開発
企業規模は問わない
国内・外いずれでもよい

〔開発段階〕

製造・販売実績（有）
関連特許（無）

〔提供可能資料など〕

パンフレット